

直前東工大英語総合演習

【2回目】



○ artificial *adj.* 「人工的な」

(2) The production of food is

S V

so fundamentally integrated with labor systems and property arrangements
and

so clearly tied to available technology

{that diet is often taken <to be a measure of economic development>}

○ ‘程度・結果’を表す so ~ that … の構文が用いられており、2つの so ~ (= so fundamentally … arrangements と so clearly … technology) が and で結ばれている。

○ be integrated with ~ 「~と結び付いている」。ここでは‘~’の部分が labor systems (労働システム) と property arrangements (富の配置) の2つになっている。

○ be tied to ~ 「~に関係している [依存している]」

○ diet is often taken to be ~ : この diet は「食; 常食; 食習慣」の意。また、ここでは take A to be B (AをBだと思ふ [みなす]) が受け身で用いられている。

○ measure *n.* 「尺度; 基準」

(3) Historians find <in food's ties to economics, ~ and religion>

S V

particularly satisfying evidence of

O

{how ordinary, daily activities are related to larger historical trends}

○ Historians が主語, find が述語動詞, evidence が目的語の第3文型の文である。

○ food's ties to ~ : tie to ~ で「~との結び付き」の意。ここでは, food (食べ物) と economics (経済学), technology (技術), commerce (商業), religion (宗教) の4つとの結び付きということである。

○ evidence of ~ 「~の証拠」。how 節が of の目的語で, how (どのように) 以下は, ordinary, daily activities が主部, are related to ~ historical trends が述部で, 「どのようにSがVするか」という構造になっている。

○ be related to ~ 「~と関係している」

(4) 下線部を含む部分の構造は以下のようにになっている。

<in every society> folk histories accompany particular dishes and,

S V₁ O₁

<like folk etymologies>,

associate the local and familiar with famous figures, great events, and ~

V₂ O₂

したがって、この部分は「あらゆる社会において、民衆の歴史には特定の料理が伴い、民衆起源論のように、the local and familiar を有名な人物や大きな出来事や~に結び付けている」という意味になる。and によって accompany particular dishes と

- associate ~ points が並んでいることと、民衆史では地元の、なじみ深い「何」が、有名人や大きな出来事など結び付いているのかを考えると、bの「地元の、なじみのある料理」が正解となる。他の選択肢の意味は次の通り。a「地元の、なじみのある学者」c「地元の、なじみのある語源」d「地元のなじみのある人々」e「地域性と親しさ」
- (5) 「生態系の研究は、～だけでなく…によっても遂行される」が文の基本構造となる。「～だけでなく…(も)」は not only [merely ; simply ; just ; alone] ~ but (also) … で表す。
- 「生態系の研究」: 「生態系」は ecology か ecosystems, 「研究」は study の他, research ; research work など。
 - 「地球規模の環境問題への対応を含めて」: 「地球規模の環境問題」は global environmental problems や environmental problems on a global scale など。問題は1つではないので複数形にする。「～への対応」は the response to ~。「含めて」には「～を(中味の一部として)含む」の意の include を用いるのが適切。ここでは分詞構文にしてSVの間に入れるとよい。
 - 「さまざまな研究分野」 various academic fields や many different academic fields など。
 - 「～の連携によって」は through the cooperation among [between] ~ など。この「～によって」には through を用いるのが適切。between は「二者の間」の意味だが、複数のものの中の2つの関係に焦点を当てての表現とすれば、ここでも使える。
 - 「国内外の研究機関」は research institutes (both) at home and abroad。
- (6) 設問中の「食と食習慣に関する現在の歴史研究」(= Current historical scholarship on food and diet) については、第4段落最終文で示されている。さらに次の第5段落第1文の That scholarship はこれを指し、第2文、第3文がその具体的事例を挙げているので、この部分を制限字数内でまとめる。第4段落最終文の「(食と食習慣に関する現在の歴史研究は)人間の行動と思考に関するあらゆる面にふれようとしている」ことが1つ目のポイント、第5段落第1文で示されている「研究の進め方にはさまざまなものがある」ことが2つ目のポイントである。さらにその具体例として、第2文で「個々の文化の食や食生活についての研究」、第3文セミコロン前までの前半で「特定の食と、それを食べる習慣的作法の分析」、セミコロン以降後半で「その変化を重要な社会的心理学的変化と関連させる研究」を挙げる。

全訳

社会分析という抽象概念の中を進んでいくことができなかつたり、歴史の細かいことなどが退屈だつたりする読者でも、他の時代や文化の食や食習慣についてならば熱心に読むだろう。この魅力については多くの理由がある。他の社会についての説明は、それらが空腹や食べることの共通体験について論じ、個人的な記憶や、なじみのある食に対する感傷的な連想や、なじみのない食べ物の描写に対する喜びや嫌悪感のショックを必然的に引き起こす時に、より身近で具体的なものに思われる。旅行ガイドも小説も映画も皆、社会的距離を測り、貧しいのか豊かなのかをすぐにわかるように食を利用する。①国内でも海外でも、彩り鮮やかな食市場が、スーパーマーケットでは覆い隠されたり人工的なものになってしまう、文化と

社会について本質的で現実的なものを表現するのに取り上げられる。

したがって、食の普遍性は、文化の相違と歴史的变化の指標としてとても大きな可能性を秘めている。すべての社会が、食を作り、分配しなければならない。そのやり方が社会自体を定義する。すべての社会が食を用意して食べることに関して精緻な決まり事、すなわち、内部の構造と緊張状態を明らかにする決まり事を作り上げる。そして、おそらく、祭りや休日、家族の行事のために特別な料理がないほど貧しい地域はなかった。必要性や味、社会的特徴、機会、価値観が食卓ですべて交差し、誰がどこに座るのか、何を皿の上に出すのか、(もしいるならば)誰が料理を用意し、誰がそれを給仕するのかを決める。大規模な公の席では、接客の順番がこうしたことを公に表す。しかし、食は、毎日の反復で社会指標としてさらに強力に作用する。西洋社会では、家庭で普通キャビアを食べるのかホットドッグを食べるのか、トリュフか冷凍食品の夕食か、立って食べるのか腰掛けて食べるのか、簡易台所で食べるのかシャンデリアの下で食べるのか、といったことの社会的意味を誰もが理解している。他の標識が同様に明らかな社会もある。

⑥食の生産は、労働システムと富の配置とに根本的に結び付き、利用可能な技術と明確に関係しているので、食は経済発展の尺度としてみなされることが多い(そして、飢餓の排除から動脈硬化や肥満にまで及ぶ効果を持つ)。科学の進歩によって人々の食べるものが影響を受けてきただけでなく、食が公共政策の対象にもなってきた。そして、ビタミンで食の栄養価を高めることは、社会管理において最もうまくいった有益な取り組みの1つであるかもしれない。もちろん、食と環境との関係や、食と社会組織との関係は、農業や食品保存や輸送のシステムとともに変化し、栄養や植物遺伝学、生物学的必要の原則に関する新しい知識によっても変更される。しかしながら、食は富と知識によるだけにとどまらない。また、専門家は、文化的な嗜好を発展レベルの科学的経済的指標と誤ることが時々あった。母乳を奨励しなくなったことや朝食をたくさん食べるのを好むこと、牛乳や肉の高消費を、普遍的な進歩の印と見誤ったのである。

⑦歴史家は、どのように普通の日常活動がより大きな歴史的動向と関連するのかについての特に満足のいく証拠を、経済学や技術、商業、宗教と食との結び付きの中に見出す。中世盛期まで、ヨーロッパ人は、少なくとも公式の場では、食事の時はもたれかかっていた。2人の一流の食史家が指摘しているように、きちんと着席した位置へと変わることによって、左手が解放され、ナイフの利用が促され、それによって、ペストの流行に続いて14世紀に行われるようになったフォーク使用への道が切り開かれた。食事のマナーの変化は、社交上の間柄や家具、富、技術における変化と結び付いた。彼らが付け加えていることによると、食と食習慣に関する現在の歴史研究が「人間の行動と思考に関するあらゆる面にふれ」ようとしているのである。

その研究は多くの異なった方法で進展できる。1つの文化における食の素晴らしい研究がある。特定の食とそれを食べる習慣の作法は美的感覚コード(情報表現の記号体系)、文化的コード、記号論的コードとして効果的に分析されてきた。そして食の変化は、重要な社会的心理学的変化と関連することがあり、その変化とは、新しい概念、すなわち、人は食べ方の違いによって異なるものになるという考えは、最初にタバコや紅茶、砂糖など帝国主義を助長するものであり、その産物でもあるものとともに出てきたとシドニー・ミンツが主張す

る時に示唆しているものである。興味深いことに、食を歴史的に重要なものにしたという衝動は学者の傾向であるだけではない。あらゆる社会において、民衆の歴史には特定の料理が伴っていて、民衆起源論のように、地元でなじみのある食事を有名な人物や大きな出来事、歴史的な転機と結び付けている。文学と芸術において食に関心が払われることで、すべての文化は食への対処の仕方でも明らかになるという印象が高まる。そして、食が重要であるとの意識は、おそらく精神の深いところから、とても簡単に出てくるので、料理法が証拠であるとの主張は多少疑ってかからなければならない。例えば、現代の国家は、自らの領域の料理が古代からの所産であることと、その特殊性を強調する傾向にある。特に、他の理由から地域差が重要に思われる時代においてはそうである。しかしながら、実際には、地域的独自性のある場所へある料理を広めることは、かなり現代になってからで、国の創設と国の料理法の設立に先じるより、それに続くものであることが多い。

収穫儀礼や地域の祝賀行事、宗教や家族の祝宴は、すべて食を用いて、社会的な結び付きに充実感や幸福感を吹き込む。その結果、食は集団の成員である資格を定義して強化し、同化の過程を明らかにする道具を提供する。移住は、しばしば食を探し求めることでもあるが、特別な食をもたらしもした。そして、料理法は、自らの特殊性を維持し、独自性の強力な象徴のままでいながら、広まり、変化し、他の料理法の要素を吸収する能力を持っているが、その能力から学ぶべきことはたくさんある。食は入り混じることに慣れている。

女性の家庭内の役割と強く結び付き、家庭で料理を準備して給仕することが愛情の絆をもたらし、男性には権威が、女性には権力があることを示すことになる。したがって、こうしたことの意味が、パック食品の普及とレストラン（そこは、パック食品を生産して分配する会社の重役のように、プロのシェフが男性の場合が多いのだが）で食事をする習慣によって浸食されるかもしれないというのが現代の懸念なのである。

これらのすべての点で、食の研究は、政治的社会的変化の過程がどれほど深く社会に達する影響を及ぼすことができるかを示すが、そうしなければ私たちが気づかない歴史的過程を明らかにすることはめったにない。現代の料理法に関する論評が、多くは政治や市場化、生態系、文化的衰退への論評でもあることは疑いない。食の歴史に関する書物をとっても魅力的で楽しいものにする特色の1つは、ある時代の日常生活に関する特異で興味深い詳細を、壮大な（そして十分になじみ深い）歴史的物語の中に位置付けることである。ありふれた話題に関する、そうしたなじみのない情報は、その重要性よりも大きな影響を持つことがよくあり、食についての歴史的伝承は、実際には値しないかもしれない、意味があり博識であるとの雰囲気容易に醸し出す場合がある。

注

- ℓ. 1 ◇ *wade through* ~ 「～を苦勞して進む〔やり通す；かき分けていく〕」
◇ *abstraction n.* 「抽象概念」
- ℓ. 5 ◇ *invoke* ~ *vt.* 「～を引き起こす」
- ℓ. 6 ◇ *revulsion n.* 「反感；憎悪」
- ℓ. 8 ◇ *penury n.* 「貧乏；貧窮」
◇ *plentitude n.* 「豊かさ」
- ℓ. 13 ◇ *elaborate adj.* 「精緻な」

- ℓ. 17 ◇ intersect *vi.* 「交わる」
 ◇ dictate ~ *vt.* 「～を決定する」
- ℓ. 20 ◇ implication *n.* 「含意；潜在的重要性」
- ℓ. 22 ◇ kitchenette *n.* 「簡易台所」
- ℓ. 26 ◇ elimination *n.* 「排除；除去」 *cf.* eliminate ~ *vt.* (～を取り除く)
- ℓ. 27 ◇ obesity *n.* 「肥満」
- ℓ. 28 ◇ fortify ~ *vt.* 「～を強化する」
- ℓ. 32 ◇ genetics *n.* 「遺伝学；遺伝的特徴」 *cf.* gene *n.* (遺伝子)
- ℓ. 35 ◇ breast feeding 「母乳を与えること；授乳」
- ℓ. 39 ◇ recline *vi.* 「もたれる；横になる」
- ℓ. 41 ◇ facilitate ~ *vt.* 「～を容易にする〔促進する〕」
- ℓ. 48 ◇ tellingly *adv.* 「効果的に；多くを物語って」
- ℓ. 51 ◇ stimulant *n.* 「刺激物；興奮剤」
- ℓ. 57 ◇ psyche *n.* 「精神；魂」
- ℓ. 58 ◇ cuisine *n.* 「料理法」
- ℓ. 59 ◇ antiquity *n.* 「古代；太古の昔」
- ℓ. 64 ◇ ritual *n.* 「儀式」
 ◇ feast *n.* 「祝宴；大宴会」
 ◇ infuse ~ *vt.* 「～を注ぎ込む〔吹き込む〕」
- ℓ. 67 ◇ assimilation *n.* 「同化；融合」
 ◇ migration *n.* 「移住」 *cf.* migrate *vi.* (移住する)
- ℓ. 70 ◇ at home in ~ 「～に慣れて〔精通して〕」
 ◇ melting pot 「るつぼ；人種・文化の混じり合った所」
- ℓ. 73 ◇ erode ~ *vt.* 「～を腐食させる〔侵食する〕」
- ℓ. 79 ◇ commercialization *n.* 「商業化」 *cf.* commercial *adj.* (商業の)
- ℓ. 83 ◇ import *n.* 「重要性」
- ℓ. 84 ◇ aura *n.* 「雰囲気；オーラ」
 ◇ merit ~ *vt.* 「～に値する」

【配点】 40点

- (1) 6点 (2) 6点 (3) 6点
 (4) 2点 (5) 8点 (6) 12点

【配点の目安】

- (1) 以下のように2つの区分を設定する。単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点とし、区分を超えて減点はしない。
- ① At home or abroad colorful food markets are taken (2点)
- ② to represent something essential and real about culture and society that becomes masked or artificial in supermarkets (4点)
 essential and real ~ society と that becomes masked ~ supermarkets を something に対する後置修飾として解釈していないもの - 3点

- (2) 以下のように2つの区分を設定する。単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点とし、区分を超えて減点はしない。
- ① The production of food is so fundamentally integrated with labor systems and property arrangements and so clearly tied to available technology (3点)
andによる並列を見抜けていないもの - 2点
 - ② that diet is often taken to be a measure of economic development (3点)
that ~ を「so ~ that 構文」の帰結として訳出していないもの - 3点
- (3) 以下のように2つの区分を設定する。単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点とし、区分を超えて減点はしない。
- ① Historians find in food's ties to economics, technology, commerce, and religion (3点)
economics, technology, commerce, and religionの並列関係を捉えられていないもの - 2点
 - ② particularly satisfying evidence of how ordinary, daily activities are related to larger historical trends (3点)
「how ~ trends の証拠」という構造で訳せていないもの - 2点
- (5) 以下のように2つの区分を設定する。単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点とし、区分を超えて減点はしない。
- ①生態系の研究は、さまざまな研究分野間の連携だけでなく、国内外の研究機関の連携によっても遂行される (6点)
not only ~, but also …や… as well as ~など、「~だけでなく…も」という表現が使用されていない - 3点
 - ②地球規模の環境問題への対応を含めて (2点)
- (6) ① (食と食習慣に関する現在の歴史研究は) 人間の行動と思考に関するあらゆる面にふれようとしている (2点)
第4段落最終文の内容に言及がないもの - 2点
- ②研究の進め方にはさまざまなものがある (1点)
 - ③個々の文化の食や食生活についての研究 (3点)
 - ④特定の食と、それを食べる習慣的作法の分析 (3点)
 - ⑤その変化を重要な社会的心理学的変化と関連させる研究 (3点)
- ①~⑤の観点から減点する。②~⑤は第5段落第1~3文に関する内容。

【2】

解答

- (1) 「全訳」の下線部㉑参照。
- (2) When a doctor diagnoses a patient with a disease and then prescribes a drug to treat it, the patient immediately thinks that the drug will help.
別解 When a doctor diagnoses an illness in a patient and prescribes a drug to treat that illness, the patient at once thinks that the medicine will be effective.
- (3) 「全訳」の下線部㉒参照。

- (4) It turned out, however, that bacteria in the body continually builds up a resistance to antibiotics, which in turn forces doctors to increase the dosage.

別解 However, the bacteria in the body keep on developing a resistance to the antibiotics, so that it has got to the stage where the doctors have no option but to increase the amount of antibiotics they give to their patients.

- (5) 体は老廃物を細胞という形で継続的に燃焼して排除しているが、発熱はこの焼却作用を助け、処理作用を回復してくれるから。(57字)

- (6) ① a ② e ③ d

- (7) d, f

解説

- (7) a 誤り

「医者は現在躊躇せず投薬しているように思われるが、それは主に薬がキャンディーのように甘いからである。」

キャンディーをあげるかのように投薬しているというのは「弊害を考えずに」という意味であり、甘いからではない。

- b 誤り

「結局筆者は体の持つ治癒力を信じていないため、すべての病気で抗生物質が必要である。」

体が自然に持つ治癒力を信じているため抗生物質の安易な使用に警鐘を鳴らしている。

- c 誤り

「筆者が初めて抗生物質を用いた時、筆者の代わりにニューヨークの生理学者がその抗生物質を末期患者に投与した。」

筆者自身の経験として紹介されている。

- d 正しい

「抗生物質はすべての病気にとっての正解ではないので、医師は初めにその問題の真の原因を考えるべきである。」

ℓ. 20 But drugs, and particularly ~参照。

- e 誤り

「子供の中耳炎は耳それ自体の問題ではなく出生に由来する問題であるから、『遺伝病』と呼ぶべきである。」

遺伝病という記述はないし、あくまで耳の感染症 (ear infection) であるとしている。

- f 正しい

「筆者によると、抗生物質は奇跡の薬と呼ばれたために、誤って人々から健康問題の心配を取り除いてしまった。」

ℓ. 40 Antibiotics are, I suspect, indirectly responsible ~から、正しい。

- g 誤り

「ある研究者は、抗生物質を動物で使用すると、身体の70%によい影響を与えたということだ。」

抗生物質の体内動態の70%がわかっただけである。

h 誤り

「普通の人々と異なり，科学者は例えば左足のひざ関節の重要性を忘れてしまうほど，些細なことに没頭することはない。」

ℓ. 79 I've seen specialists who've ～に反する。

全訳

最近あなたは薬箱を開けて，中に何が入っているか調べたことがあるだろうか。うがい薬，練り歯磨き，防臭剤に加えて，多分，琥珀色のプラスチックの瓶が1つや2つ必ず見つかるだろう。そして，普通は，このうちの1つには何らかの抗生物質が含まれている。① ついでにもう1つ尋ねるなら，あなたの家族の誰も丸一年医者に抗生物質を処方してもらわずに過ごせた最後の時はいつだったか思い出せるだろうか。

近頃は医者は患者に，薬をまるで無害なキャンディーのように渡している。しかし，私がことさらに有害だと思うのは，抗生物質への強い選り好みなのだ。

私は体の自己治癒力を信じているが，だからと言って抗生物質を使用することについていかなるときも反対しているわけではない。まったくそうではないのだ。それどころか，私はそもそもシンシナティで抗生物質を処方した最初の医者の中の1人である。1940年代の後半のことだが，ニューヨークから来た生理学者が私に抗生物質を紹介してくれた。彼は抗生物質の製造を考えていた地元の蒸留酒製造場を訪れていたのである。その時，私の患者の1人が末期の病にかかっていたので，私は新薬のことで，その生理学者から新薬を試すボランティアを探すように頼まれていることを話した。患者はボランティアになることに同意したが，それは患者も私も，そうしなければおそらく死しかないと感じていたからだ。抗生物質の効き目は素晴らしく，患者は間もなく体力を取り戻したのであった。

医者が病気の人を診断し，病気の人を治療するために薬を処方すると，患者はすぐに，その薬は効くだろうと考える。つまり，「私の病気は重い」という患者のそれまでの考え方が「私の病気は治る」という新しい考え方にとって代わられるのである。だから，これから治療の過程が始まるのだと患者が考えられるように手助けしてあげれば，回復の過程は実際に始まるのである。

しかし，薬，特に抗生物質は必ずしもすべての病気への正しい答えではない。例えば，子供の中耳炎（耳の痛み）の普通の治療法は2，3カ月にわたって抗生物質を処方することだ。だが，これよりももっとよい治療法は医者が中耳炎を本当に引き起こしている原因を探り当てることかもしれない。

ほとんどの医者が抗生物質を使用する理由は耳の感染は耳自体の内部だけで起こっていると考えからだ。しかし中耳炎の問題は，子供が生まれる時に実際には始まっていて，その時点では直腸呼吸反射が首と肩の上部におけるリンパ液の排出に影響を与えているのだ。だから治療が必要なのは耳ではなく，体全体である。私の解決法は胸郭と骨盤をゆるめ，リンパ液が体全体を流れるようにし，次にグリセリンを数滴それぞれの耳に落としてあげることだ。これで中耳炎はすっかり治ってしまうはずだ。

この治療法で私がかかなりの成功を収めてきたこと，また多くの医者がこんな治療法などあり得ないと考えていたことから，アリゾナ大学の関係者たちが私がこういった感染症の1つにかかっている子供を治療しているところをビデオで撮影することに決めたのである。そこ

で、数台のカメラが回っている間、私はいつものように患者の少年に治療を行った。
◎治療は大成功で、少年のかかりつけの小児科医ですら、6カ月が経過したのち、少年が治療後は中耳炎にかからなくなったことをやっと認めたのである。私が治療をする前は少年は平均して6週間に一度は中耳炎を繰り返していたのである。

長年にわたって私はこの治療法で何百人という子供たちを治療してきたが、子供たちのほとんどすべての者が薬の悪い影響を受けることなく回復したのである。

抗生物質の問題点は、それが不必要な場合にも使用されるということに限られるわけではない。私は、抗生物質は一般大衆が自分の健康を根本から心配しなくなったことの間接的な原因になっていると思っている。第二次世界大戦が終わった時、医者たちはこういった薬をたくさん持ってアメリカに戻ってきた。そして四六時中人々に、医学は万病に効く奇跡の薬をついに発明したと言いつらしていた。人々は医者言葉を信じ、自分の健康に以前ほど注意を払わなくなってしまった。万能薬が気軽に使え、いつでも手に入り、比較的安価なのだから、健康のことなど心配する必要などない、というわけだ。

ところが、体の中の細菌は抗生物質に対する抵抗性を獲得し続け、そのため今度は医者が抗生物質の投与量を増やさざるを得ない事態になってしまった。現在の薬に対していまや耐性を持つようになってある種の連鎖球菌の場合と同様に、抗生物質もやがてうまく効かなくなるだろう。だから化学者や生理学者たちは現在の薬にとって代わる新しい抗生物質を見つけ出そうと努力しているのだ。

抗生物質を大量に摂りすぎるとどんな種類の害が生じるのか誰にもわかっていないのに、抗生物質を気ままに利用することは、それだけの危険をおかす価値はあるのだろうか。こうした薬の影響を動物に投与して調べているある人が私にこう教えてくれた。ある抗生物質が体中をめぐる跡を追っていくと、その70%がどうなったかを突き止めることができたが、他の30%は長期的にもどこに行ってしまったのかわからなかった、と。私自身は、症状をかなり長い間抑制しているように思えることからして、抗生物質は免疫組織を破壊している可能性があるのではないかと推測している。

抗生物質のこのような抑制的特徴は問題となる点でもある。あなたが肺炎のようなある種の感染症にかかった場合、肺炎が発病から衰退へと通常の過程を進むのに任せるというより、むしろ病気を抑制するために抗生物質が処方される。結果として一時的に病気が緩和されるものの、病気がいつかまた関節炎のような別の形で再燃する可能性が高いのである。

この頃は、熱で倒れると、まっさきに言われることは熱を取り除きなさいということだ。私が整骨療法の大学に通っていた頃は正反対のことを言われた。つまり、発熱によって現れようとしているいっさいの症状に対し体が反応するように助けてやりなさいと言われたのだ。華氏103度（摂氏39.4度）までの熱なら体により可能性がある。体は細胞という形をとって老廃物を絶えず燃焼している。それは細胞がいつも死ぬ途上にあるからだ。もしこれらの細胞がいつもの決まったやり方で体を離れない場合には、細胞は蓄積し始めることになるから、そこで母なる自然が熱をつくりだして、死んだ細胞を焼却し、処理過程を回復するのである。熱はまさしく体が必要としているものと言えるだろう。

可能な時はいつでも、抗生物質は避けなさい。華氏103度（摂氏39.4度）以下なら、どんな薬もふさわしくない。確かにこういった薬が体を生かしておくために必要な時はある。

私自身、薬がなかったら今ここにはいないだろう。何百万人という他のアメリカ人だって同じだろう。しかしあなたが本当に病気を治したいなら、あなたの全存在に栄養を与えなければならないし、そのための最もよい方法は鍼灸やハーブや整骨療法の手技といった生命力に働きかける代替療法にあるのだ。

今日、私たちは自らを科学的であると誇らしげに思っている世界に生きている。すべての事柄が、人に受け入れられるためには、科学によって立証されなければならない、また何かを証明するには、最初に物事を部分に分割し、次にそれらの部分の1つひとつを際限なく証明する過程に進んでいく。自分がしていることにあまりにも深入りすぎて、例えば、体には左ひざの関節以外のところもあることを忘れてしまった専門家を私は何人も見てきた。

こうした細分化の過程が続き、またメディアが特定の試みや実験、他のテストの結果を報道していくと、一般の人々も個々の部分に分割していくこういった研究のすべてに夢中になって、自分自身の内面にある全体性のことをも忘れてしまうのだ。

私たちは、医者も患者も、みんながその全体性に戻らなければならない。確かに、部分も重要ではあるが、全体像を把握していなければ個々の要素を理解しても何の役にも立たないだろう。この世界には統計学者の描く鐘形曲線では捉えきれないものがあるのだ。

【配点】 60点

- (1) 8点 (2) 10点 (3) 10点 (4) 10点
(5) 10点 (6) 6点 (各2点) (7) 6点 (各3点)

【配点の目安】

- (1) For that matter, when was the last time you went an entire year without a doctor prescribing antibiotics to at least one member of your family? (8点)
go without ~ 「~なしで済ませる」を訳出できていないもの - 3点
単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点とする。
- (2) 以下のように2つの区分を設定する。単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点とし、区分を超えて減点はしない。
- ① 医者が病気の人を診断し、病気の人を治療するために薬を処方すると、(6点)
② 患者はすぐに、その薬は効くだろうと考える。(4点)
- (3) 以下のように4つの区分を設定する。単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点とし、区分を超えて減点はしない。
- ① the treatment was successful enough that even the boy's pediatrician eventually admitted (3点)
successful enough that の構造を正しく訳出できていないもの - 2点
② , after six months had passed, (2点)
admitted を修飾する副詞節として解釈できていないもの - 2点
③ that the child hadn't had an ear infection since (3点)
that ~ を admitted の目的語として解釈できていないもの - 2点
since (the child had got treatment) と解釈できていないもの - 1点
④ , although before, he had been averaging one every six weeks (2点)
he had been (infected) の構造が読み取れていないもの - 2点

- (4) 以下のように2つの区分を設定する。単語レベルのミス・脱落は1件につき1点減点とし、区分を超えて減点はしない。
- ①ところが体の中の細菌は抗生物質に対する抵抗性を獲得し続け、(4点)
 - ②そのため今度は医者が抗生物質の投与量を増やさざるを得ない事態になってしまった。(6点)
- (5) ①体は老廃物を細胞という形で継続的に燃焼して排除しているが(4点)
- ②発熱はこの焼却作用を助け、処理作用を回復してくれるから(6点)
- 老廃物の排除と発熱の関係について①、②の観点から減点する。



会員番号	
------	--

氏名	
----	--